

申告フローチャート ～申告が必要か確認してみましょう～

スタート

令和8年1月1日現在、五霞町にお住まいでしたか

五霞町以外での申告となります
令和8年1月1日にお住まいであった市区町村で申告してください

はい

いいえ

令和7年中（令和7年1月1日から令和7年12月31日まで）にどんな収入や控除がありましたか

- ・青色申告の方
- ・令和7年分以外の申告
- ・令和7年中に亡くなられた方の申告
- ・消費税、贈与税、相続税の申告
- ・譲渡所得（土地、建物、金地金）
- ・株式等の譲渡所得
- ・上場株式などの配当所得
- ・太陽光発電による所得(初年度の場合)
- ・先物取引の雑所得
- ・損益通算や繰越控除
- ・雑損控除
- ・外国税額控除
- ・新規に住宅借入金等特別控除を受ける
- ・国外に居住している親族を扶養とする申告

税務署で
確定申告

(町の申告会場での
受付は不可です)

収入なし、または
非課税収入のみ※1

(雇用保険の失業給付・
遺族年金・障害年金等)

- ・五霞町外の親族の税法上の扶養になっている
- ・誰の税法上の扶養にもなっていない

住民税申告

- ・五霞町在住の親族の税法上の扶養になっている

確定申告不要

主に年金収入

- ・公的年金等（その全部が源泉徴収の対象となる場合に限り
ます）の収入金額が400万円以下
- ・年金収入が400万円以下で、他の所得(20万円以下)がある
- ・公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円を超
えている
- ・年金収入のみで400万円を超える
- ・各種控除を受ける（所得税の還付を受ける場合※2）
配偶者(特別)控除 扶養控除 生命保険料控除
地震保険料控除 医療費控除 など

住民税申告

主に給与収入

- ・各種控除を受ける（所得税の還付を受ける場合※2）
生命保険料控除 地震保険料控除 医療費控除
寄附金控除 社会保険料控除 配偶者(特別)控除
扶養控除 障害者控除 など
- ・1カ所からの給与収入と、それ以外の所得の合計額が20万
円を超える
- ・2カ所以上から給与があり、年末調整されていない給与収
入とそれ以外の所得の合計額が20万円を超える
- ・年末調整を受けていない
- ・給与収入が2,000万円を超える
- ・1カ所からの給与収入のみで年末調整の内容に変更がない
- ・合計所得金額が1,000万円を超える方で同一生計配偶者を
扶養する方

確定申告

確定申告不要

住民税申告

- ・事業所得（農業、営業）
- ・不動産所得
- ・雑所得
- ・一時所得

- ・所得金額より控除が少ない場合
(所得税が課税される場合)

確定申告

- ・所得金額より控除が多い場合
(所得税が課税されない場合)

住民税申告

※1 収入がなかった場合や非課税所得（遺族年金・障害年金・失業保険など）のみの方は、申告書の提出義務はありませんが、非課税証明書の発行や、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の算定、その他行政サービスの利用の際に必要となります。申告をしない場合、各種保険税等の軽減措置が受けられなかったり、非課税証明書の発行ができません。

※2 所得税の還付を受けようとする場合には確定申告をする必要があります。